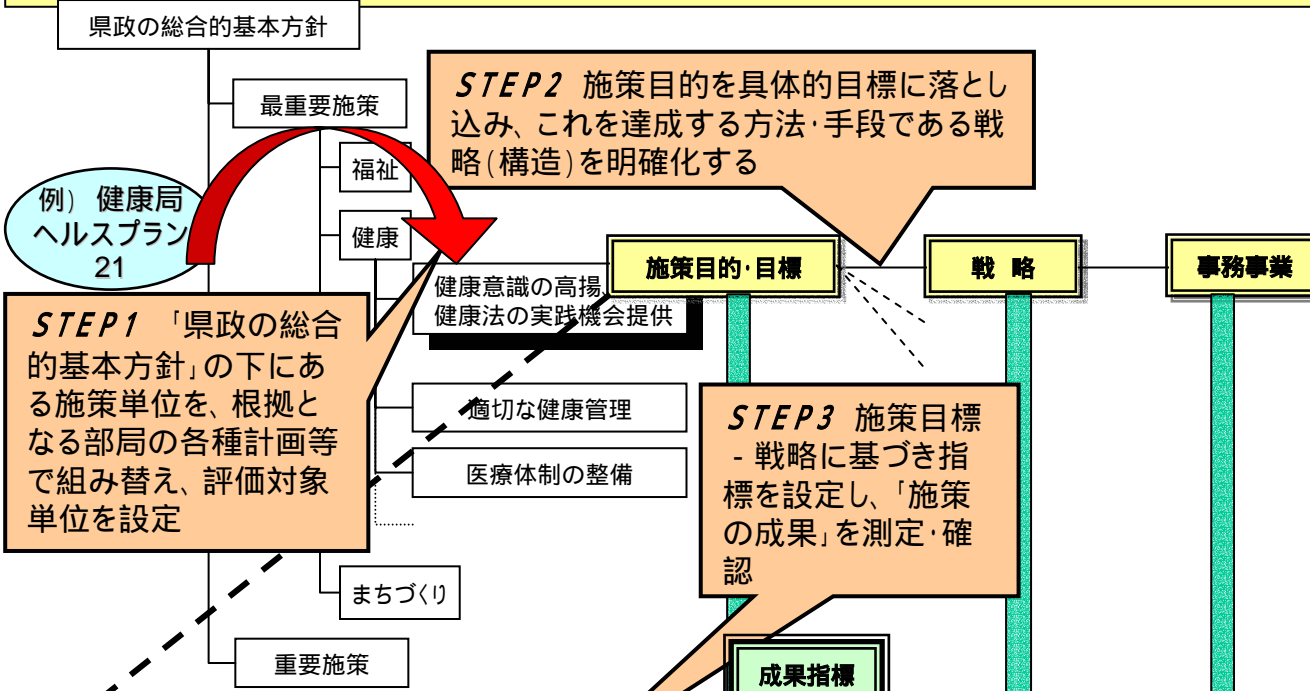


「県政の総合的基本方針」をベースにした県全体の施策における部局の責任分担を基本に、この施策の分担範囲に応じ部局の各種計画等を根拠に組み替えた施策ごとに、目的・目標 - 戦略 - 事務事業に体系化し、これに基づき「施策管理シート」を作成します



様式1 施策管理シート

1. 成果の説明(平成 年度未現在)

成果を説明する指標	前々々期	前々期	前期	当期	目標値	達成度	動向
生活習慣病の年齢調整死亡率(人口10万人)(男)	410.2	393.9	387.1	373.4	xx.x	xx.x	
がんの年齢調整死亡率	203.6	201.6	205.6	205.7	xx.x	xx.x	
心臓病の年齢調整死亡率	103.5	98.5	95.1	91.6	xx.x	xx.x	

2. 活動と費用の説明
情報収集結果

戦略(サブ施策)	
県民等との協議・意見聴取・各種調査等情報収集実績(14年度)	県民等からの要望・提案等ニーズ、民間・他県・海外諸国との比較による優良事例等の情報収集で得た内容
xx会議の開催(月日、2回開催) 研修会への参加(3回)	県民からに関する施策の要望 アンケート結果「 」(%)、「 」(%)

業務活動と費用の説明

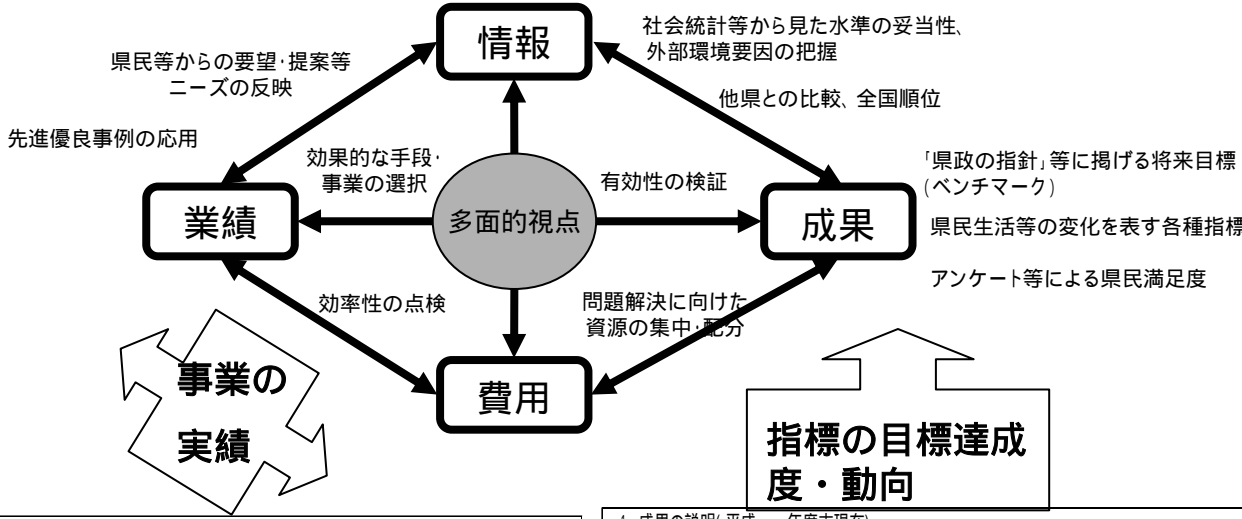
事業名	H12	13	14実績	14目標	14予算額	実績	15目標
食生活改善対策指導費 (食生活改善グループ会員数)	7,294人 (…千円)	7,334人 (…千円)	7,xxx人	人	(…千円)	a	人
健康生活習慣普及推進費 (禁煙教室参加者)	2,352人 (…千円)	2,390人 (…千円)	2,xxx人	人	(…千円)	a	人
外食もヘルシーに推進事業費 (栄養成分表示店舗)	49店舗 (…千円)	49店舗 (…千円)	xx店舗	xx店舗	(…千円)	b	xx店舗

注:用語や数値等は、実際の評価様式を、説明用に一部修正・簡略化し、加工したのもも使用しています。

施策レベルの指標の目標達成度・動向と、事業の実績を比較検証することを基本に、「成果」「業績」「費用」「情報」という4つの要素から、多面的視点をもって、各施策を総合的に評価（分析・検討）します（施策分析シートの作成へ）

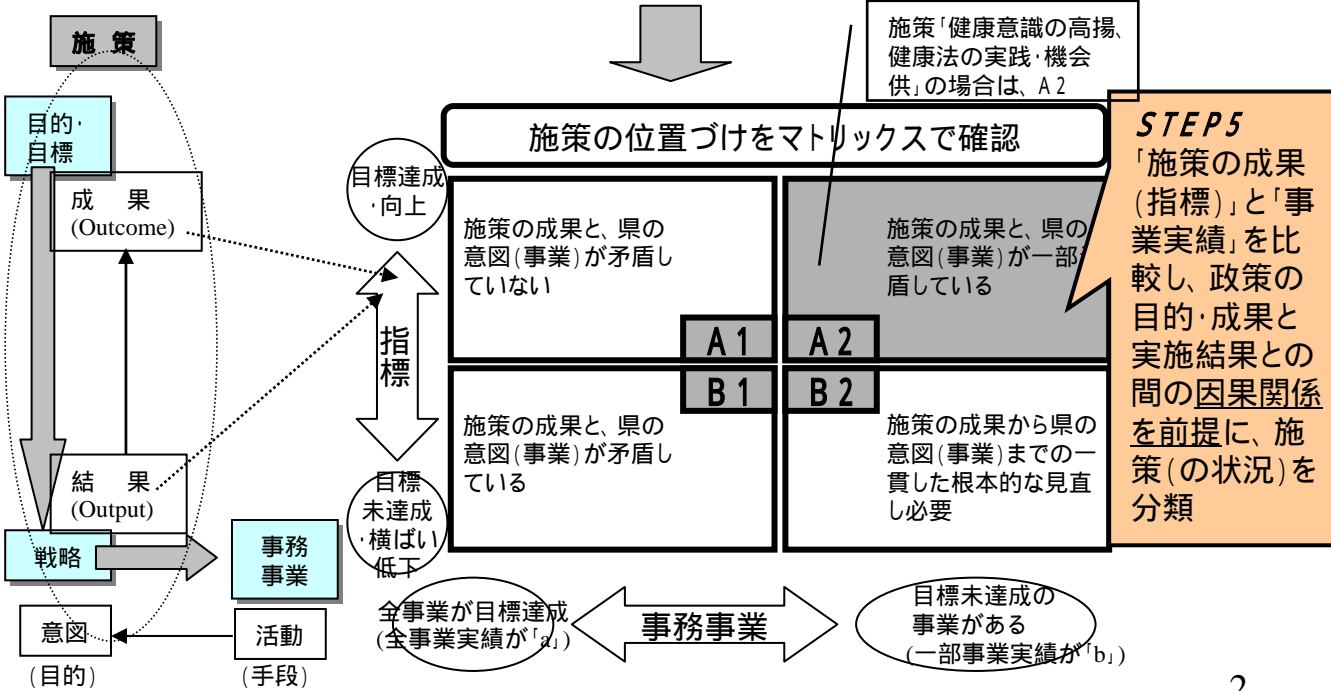
情報収集結果	
戦略（サブ施策）	
県民等との協議・意見聴取・各種調査等情報収集実績（14年度）	県民等からの要望・提案等ニーズ、民間・他県・海外諸国との比較による優良事例等の情報収集で得た内容
××会議の開催（月 日、2回開催）	県民から に関する施策の要望
研修会への参加（3回）	アンケート結果「 () (%)、」 () (%)

関連指標				
関連指標	前々々期	前々期	前期	今期
平均寿命	77.6年	77.5年	78.0年	77.8年

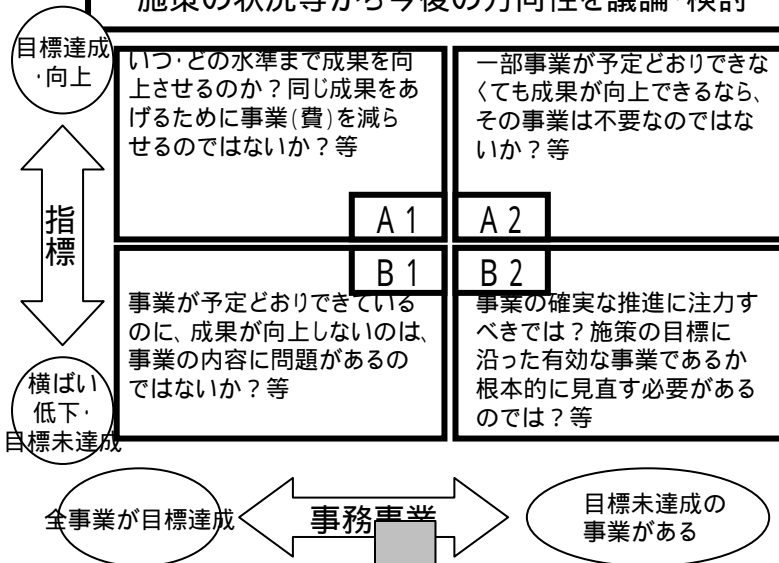


業務活動と費用の説明						
事業名	H12	13	14実績	14目標	14予算額	15目標
食生活改善対策指導費（食生活改善グループ会員数）	7,294人 (…千円)	7,334人 (…千円)	7,xxx人	人	(…千円)	a 人
健康生活習慣普及推進費（禁煙教室参加者）	2,352人 (…千円)	2,390人 (…千円)	2,xxx人	人	(…千円)	a 人
外食もヘルシーに推進事業費（栄養成分表示店舗）	49店舗 (…千円)	49店舗 (…千円)	xx店舗	xx店舗	(…千円)	xx店舗

1. 成果の説明(平成 年度未現在)						
成果を説明する指標	前々々期	前々期	前期	当期	目標値	達成度 動向
生活習慣病の年齢調整死亡率	410.2	393.9	387.1	373.4	xx.X	xx.X
(人口10万人)(男)						
がんの年齢調整死亡率	203.6	201.6	205.6	205.7	xx.X	xx.X
心臓病の年齢調整死亡率	103.5	98.5	95.1	91.6	xx.X	xx.X



施策の状況等から今後の方向性を議論・検討



STEP6 「施策の分類」、「情報収集結果(県民ニーズや優良事例)」、「施策の性質」、「他自治体の水準」や、施策以外の行政内外の要因等を総合的に分析・検討

様式2 施策分析シート

1) 施策の性質
 (例) 12年4月より介護保険制度がスタートし、おおむね問題なく順調にすべり出しをしたところである。高齢化の進行に伴い、ねたきり・痴呆等をはじめとする疾病等により介護を要する高齢者も増加することが予想され、こうした中で、介護対策は、介護施設や人材など介護保険を支える介護基盤の整備を進め、多様な介護ニーズに対応したサービス提供ができる体制づくりを進めるものであり、必要不可欠な施策である。

2) 様式1「1. 成果の説明」の「2) 成果を説明する指標」の目標達成度による施策の有効性・進捗等状況説明
 (施策以外の行政の内部要因、行政以外の主体等による社会的な外部要因も踏まえた要因分析)
 (例) デイサービスセンター数やケアハウス定員数については、時系列的にほぼ向上に推移し、年次の目標値を達成しており、全国水準からみても施設サービスは着実に進展している。また、特別養護老人ホーム待機者数も減少傾向にあり、施策が有効に機能しているといえる。一方、ホームヘルパー数は伸び悩み目標値を下回っており、介護保険居宅サービス利用率の向上に成果が反映されているとはいえず、であり、在宅介護支援センターの機能や、また、NPO等団体が、であることから、これらへの支援、官官及び官民の協働・連携の重要性がますます高まっている状況である。この点では、地域で介護を担うNPO法人の増加傾向が着実にみられるが、全国水準と比較してさらに重点を置いた取組みが必要である。

3) 様式1「1. 成果の説明」と「2. 活動と費用の説明」の比較による施策の成果に対する事業の効果・課題等の分析
 (例) 事務事業はおおむね予定どおり実施されているが、「利用者が安心して利用できるサービスの質・量の確保」の面で、家族介護者交流事業や訪問介護員研修事業等の業績が十分に達成されないなど、成果指標のホームヘルパー数の動向にみる人材育成の不足と一致した傾向が見られ貢献度が低いといえる。それぞれ事前・事後の人材育成対象者のニーズ把握や、などから、事業の有効化を図っていくべきと考える。また、高齢者の在宅福祉の実施主体が市町村であることから、「」の面では、市町村への支援事業の充実が必要であるとともに、民間団体の在宅介護を可能とする生活支援事業を地域性に応じて積極的推進できるようにすることが必要である。

4) 様式1「2. 活動と費用の説明」の「1) 情報収集結果」の施策・事業への反映(県民等のニーズや、優良事例(ベストプラクティス)などの反映)
 (例) 老人障害予防センター推進事業(高齢福祉課)におけるねたきり・痴呆の予防方法等について、市町村、社会福祉協議会、社会福祉施設等から、という要望・提案があり、これをとして反映させる。また、適正なサービスの提供及び効果的な介護予防事業を展開するため、「県生涯安心計画地域推進会議」において、地域ケアの広域的な調整を行い、必要なサービス確保に努めていく。

1) 今後の方針 (課題に対する施策・事業のあり方・展開)	前年度方針 (前年度の再掲) 単補助制度の創設等、県民の多様な介護ニーズに対応できるよう関連施策の一層の推進を図っていく。 ・「老人保健施設定員数」は横ばいであるが、これは生涯安心計画作成時点で老人保健施設の必要量はほぼ充足されているとして平成14年度整備目標量を4,838人と定めたことによるものであり、計画に沿った整備がなされているが、入所希望が増えていることから、今後整備促進を図っていく。 ・ケアマネージャー、ホームヘルパー研修の充実を図り、介護保険制度の安定的な運営を目指す。
	改善方針 (例) 介護福祉など、介護サービス基盤の整備は順調に進展し一定の成果をあげており、今後は、高齢者の施設への入所希望数等を把握しつつ、計画的に量的・質的な整備を図る必要がある。特に、サービスを提供する人材の育成に関する事業については、事前・事後の人材育成対象者のニーズを把握し事業に反映するとともに、市町村や団体等との協議を組み込むことで、効果的な事業を立案・実施する必要がある。これに対し、であるため、高齢者ができるだけ自宅で自立した生活を可能とするハード面及び生活支援事業等の効果もあがるよう、居宅サービスにかかる資源配分を重点化していく。特に、市町村や団体等との連携が必要な分野であることから、市町村や団体等への支援事業の重点的な効果もあがった補助事業の抜本的な見直しを検討し、地域ケアの役割分担を明確にした事業展開をしていく。

記述担当者名	課・担当者	高齢福祉課 担当	連絡先	058-272-1111(内線××××)	最終日付	平成15年××月××日
--------	-------	----------	-----	----------------------	------	-------------

STEP7 分析に基づき、課題に対する改善のための施策・事業のあり方や、展開などについて、「今後の(改善)方針」を決定

